職員朝礼校長より 3.

10月18日(木) **「教わる気になるな、問いも自分で見つけろ」**

今回も引き続き「教わる気になるな。問いも自分で見つけろ」です。では問いの出所はどこにあるか。古代哲学においてそれは「タウマゼイン(驚き)」でした。近代哲学のそれは「懐疑(疑うこと)」でした。それでは**現代哲学の問いの出所**は何か。それは「不安」、「無意味」(これはニヒリズム、人生の意味に関わる問題です)、それと「悲哀」です(これに「孤独」を加えることができるでしょう)。ここから出て来る問いは「**実存的な問い**」、人間の身に生まれたことから生ずる、どうしても問わざるをえない問いです。

こうした問いは現代的な問いとして、生徒も敏感に察知している問いです。こうした問いに目覚めさせ、皆さんもともに考えていく工夫をお願いしたいと思います。